

No. 1125

企業

zoom up

クラスアクト

ITインフラで確かな仕事を

アウトドア派の本間社長。当社は自転車競技の実業団のスポンサーにもなっている



今回紹介するのは、ITインフラの設計構築、運用保守を手がける（株）クラスアクト。代表本間氏の経験、実績をもとに、大手SIerや携帯キャリア、通信会社など得意先からの信頼は厚い。競合他社も比較的少ないといわれるインフラ領域において順調に成長してきた当社だが、特に近年は事業領域を拡大し、業績の伸長が続いている。というのも、当社は2005年4月に設立して以降、インフラ設計構築をメインに行っていたが、同事業はエンジニアに相応の技術レベルが求められる分野であるため、人材確保がなかなか進まないという課題を抱えていた。そこで、より人材を集めやすい保守管理分野にも進出、教育制度を整備し、各人が経験を積んでスキルアップを図る方針へと舵を切った。これが功を奏し、事業基盤はより強固なものとなっている。

代表の本間氏は、大学卒業後、釣り好きが高じて釣具店に就職したという経歴の持ち主。その後、IT業界に飛び込み、インフラ分野でスキルを磨いてきた。もともと起業を考えていたという本間氏だが、IT業界に身を置きその実情を知るうちに「従業員が長く働ける会社を作りたい」という思いが強くなり、当社設立に至ったという。

事業領域の拡大に伴い、エンジニア未経験者の採用が増加したという当社。勤務形態は顧客先への派遣が主なため「重要なのはエンジニア個人の能力や魅力です」と本間氏は話す。当社で働く個人それぞれがクラスアクトの一員であり、成長

を実感できるようにと、コミュニケーションの活性化を図るメンター制度を取り入れ、資格だけでなく業務レベルでのノウハウ習得を目指す「フィクションプロジェクト」というロープレ研修も実施。そのほか、キャリアコンサルも導入し、社員が好きな時にキャリア形成に関する相談ができるように整備を行っている。こうした仕掛けも「自らの人生を考えるきっかけを用意して、本人たちのやる気を引き出せれば」という本間社長の考えからだ。

システム会社には珍しく「定年まで働き続けることが出来る会社」というビジョンを持つ当社。そのため、器となる当社が安定して存続していく必要があり、事業規模の拡大は欠かせない。本間社長も、従業員の数をこの先5年ほどで500名に増やし、いずれ1000名の大台にも乗せていきたいと考えている。

会社を大きくしていく過程で、エンジニア以外の職務の多様化や、新規事業の展開などやりたいことは多いと話す本間社長。社名である「クラスアクト」は優れた業績を残した俳優やスポーツ選手に向けて使われる言葉だが、エンジニアとして一流の仕事を行っていくという意気込みが込められている。従業員一人一人のスキルを高めていくことで、当社は質の高い仕事を提供していくだろう。

（取材・文／東京支社情報部 瓦田 真人）



先日改装したばかりの当社オフィス

会社概要

（株）クラスアクト

TDB企業コード：988880918

法人番号：3010601031423

東京都中央区新川2-9-9、電話：03-6222-8162

代表：本間 豪紀 氏

設立：2005年4月

資本金：1000万円

事業内容：ITインフラの設計構築、運用保守

年収入高：約6億9400万円（2020年9月期）

従業員数：122名

<https://www.classact.co.jp/>